

## 「学校関係者評価報告書」の公表について

本校では、以前より教育や業務の改善を図るために、自己点検・評価に取り組んでおります。平成25年度から、卒業生を含め本校に関係の深い企業関連の方々を中心に「学校関係者評価委員会」を設置し、ご意見等をお聞きして、教育活動や学校運営に反映させてまいりました。

本年度は、学校関係者評価委員会を2019年6月3日に開催しました。その結果を、保護者や地域社会の皆様方に対し、説明責任を果たし、理解と協力を得るために「学校関係者評価委員会報告書」としてここに公表いたします。

学校関係者評価委員会では、本校が行った自己点検評価や学校運営上の重点項目に対して、多くのご意見やご助言をいただきました。本校では、これらのご指導項目を真摯に受け止め、より良い教育、学校運営を実現するために、教職員一同努力して組織的・継続的な改善を続けて参ります。

学校に対するご支援や条件整備等の充実に対して、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

2019年7月  
学校法人京都中央学院  
Y I C 京都ビューティ専門学校  
校長 杉山 征人

学校法人京都中央学院 Y I C 京都ビューティ専門学校

学校関係者評価委員会

任期：2019年4月1日～2021年3月31日

(敬称略)

選出区分	氏名	所属等
職能団体	玄田 宗七	滋賀県美容業生活衛生同業組合 理事長
業界企業	藤本 圭哉	株式会社ガモウ関西 代表取締役社長
業界企業	浅野 健治	株式会社YAYOI BRAINS 代表取締役
業界企業	伊佐治 勇樹	株式会社ガネイシャ 代表取締役
業界企業	相良 知之	資生堂プロフェッショナル株式会社 営業部 広域3グループ 部長
業界企業	越前 多恵子	ワタベウエディング株式会社 アニバーサリーサロン 課長
業界企業	岡澤 ひとみ	株式会社WEDDGE 代表取締役
卒業生	福山 正樹	レーコ美容室株式会社

学校事務局	氏名	所属等
学 校	杉山 征人	Y I C 京都ビューティ専門学校 校 長
学 校	細田 元一	Y I C 京都ビューティ専門学校 副校長
学 校	田澤 初美	Y I C 京都ビューティ専門学校 教務課長
学 校	内田 幸治	Y I C 京都ビューティ専門学校 管理部長
学 校	山根 大助	Y I C 京都ビューティ専門学校 経営推進室長

## 2019年度 第1回学校関係者評価委員会 議事録

場 所：YIC 京都ビューティ専門学校 1号館3階131教室

日 時：2019年6月3日（月） 13:30～15:30

参加委員：滋賀県美容業生活衛生同業組合：玄田様

YAYOI BRAINS：浅野様

ガネイシャ：伊佐治様

資生堂プロフェッショナル：助川様（議長）

ワタベウエディング：越前様

WEDDGE：岡澤様

レーコ美容室（卒業生）：福山様

事務局：杉山校長、細田副校長、田澤教務課長、山根アメーバ経営推進室長

欠 席：ガモウ関西：藤本様、内田管理部長

オブザーバー：齋藤校長補佐、西岡教頭補佐、天野美容科長、喜多村（ブライダル科教員）

記 録：山根

1. 校長あいさつ
2. 教職員紹介
3. 関係者評価委員紹介
4. 定員数確認（副校長）
  - ・ 2名欠席で過半数を満たし、本委員会は成立する。
  - ・ 委員長に助川委員を推薦、全員の賛同により承認された。
5. 配布資料等確認
6. 平成30年度の自己点検評価結果について（副校長）
  - ・ 自己点検評価結果の説明に先立ち、本校の概要に関して校長から説明があった。
  - ・ 「平成30年度 YIC 京都ビューティ専門学校 自己点検・評価結果」に基づき、以下の項目の説明があった。
    - ① 1. 教育理念・目標
    - ② 2. 学校運営
    - ③ 7. 学生の受入れ募集
    - ④ 8. 教育の内部質保証システム
    - ⑤ 9. 財務
    - ⑥ 10. 社会貢献・地域貢献
    - ⑦ 11. 国際交流

7. 2019年度の取り組みへの意見等

大項目名	項目番号	ご意見（委員）	回答（事務局）
1. 教育理念・目標	1-3	関東では美容学校の卒業生に対して教育する制度が広がっている。関西でも制度導入が必要ではないか。	学校としては業界が必要とする人材を目指して教育する。社会人教育と学びなおし講座もリカレント事業として学校の取り組みとして実施する事はあり得る。また、卒業生を1年制の専科で教育する事もあり得る。
1. 教育理念・目標	1-3	3年目の教育に関してサロンとのマッチングもあり、技術力よりも業界から出て行かない価値観、仕事間を教育した方が良いのではないか。	
2. 学校運営	2-7	教員の採用計画を計画的に実施した方が良いのではないか。指導して授業内容が改善されているのであれば良いが、改善が見られない教員がいるのであれば計画的な採用が必要と感じる。	教員を増やすという考えもあるが学校システムも変化させる事も検討している。担任制を個人固定ではなく学科、学校全体で見る。
7. 学生の受け入れ募集	7-7	現場でも様々な状況に対応できる様取り組んでいるが、中々自己申告が無いのが現状。見た目に分からない症状への対応が後手となっている事が課題と感じる。	学校は受け入れた以上は育て上げる義務がある。しかしながら入学時に自己申告がない場合もある。様々なケースのデータを蓄積していき、対応法を確立していく。
8. 教育の内部質保証システム	8-8	ネットワークサロンの選定基準はどの様になっているのか。考え方に賛同するという基準のみでは非常に数が多くなり、能力不足の企業も入る可能性があるのではないか。教育の質低下が懸念される。分野ごとに条件は変化するかもしれないが。	学校から見るとサロンの動向が不明な点もある。是非、ご教授いただきたい。

8. 今後の予定（副校長）

年1回の実施のため、2019年度の委員会はこれで終了。

※委員会開催必要がある場合はお声掛けする。

以 上